

## 【小児肺炎球菌ワクチン】

肺炎球菌が引き起こす主な感染症は、細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重い全身性の感染症や中耳炎、副鼻腔炎などの気道感染症があります。細菌性髄膜炎にかかる子どもの半分以上は 0 歳児であり、生後 6 か月を過ぎると発症が増え、5 歳ごろまでリスクがあります。

- ・対象年齢：生後 2 か月～生後 60 か月まで
- ・費用：無料
- ・接種方法：皮下接種または筋肉内接種

### <標準的な接種>

- ・年齢：初回接種開始が生後 2 か月～7 か月まで
- ・回数：初回 3 回、追加 1 回
- ・間隔：初回接種 生後 24 か月までの間に、27 日以上

※2 回目の接種が生後 12 か月を超えた場合、3 回目の接種は行わない

追加接種 初回接種終了後 60 日以上の間隔をおいて、生後 12 か月に至った日以降

### <標準外の接種>

#### ①初回接種が生後 7 か月～12 か月までの場合

- ・回数：初回 2 回、追加 1 回
- ・間隔：初回接種 生後 24 か月までの間に、27 日以上

追加接種 初回接種終了後 60 日以上の間隔をおいて、生後 12 か月に至った日以降

#### ②初回接種が生後 12 か月～24 か月までの場合

- ・回数：2 回
- ・間隔：60 日以上

#### ③初回接種が生後 24 か月～60 か月までの場合

- ・回数：1 回